

# 主要事業評価シート(第2次実施計画 / R1・2・3年度)

基本 事業 体系	計画コード	事業名		部名	総合政策部
	17066	リニア中央新幹線整備促進事業		課名	政策課 政策調整G
	施策の大綱	03:交通拠点性を生かした都市活力の向上		財務 科目 目	01:一般会計
	基本施策	05:広域的な交通拠点性の強化			02:総務費
	施策の方向	01:リニア中央新幹線市内停車駅の誘致の推進			01:総務管理費
戦略プロジェクト	-		07:企画費		
事業予定期間	H 21 ~ R - 年度	主な根拠法令要綱等			

目的 概要	対象	市民・リニア中央新幹線・JR複線電化推進亀山市民会議	
	目的	リニア中央新幹線の三重・奈良ルートでの名古屋・大阪間の早期開業と市内停車駅設置の実現に向け、市民・企業・商業者と一体となった積極的な誘致活動を展開するとともに、市民の意識醸成を図る。	
概要		リニア中央新幹線・JR複線電化推進亀山市民会議への活動支援や県期成同盟会等との活動を通じ、リニア中央新幹線の東京・大阪間の早期開業及び県内の概略ルートや駅の概略位置の早期公表、市内停車駅誘致に向けた活動を行うとともに、市民の意識醸成のためのPR活動を行う。また、駅誘致の決定後、リニアを核としたまちづくりに向けて円滑に取り組めるよう、先進自治体への視察を継続し、情報収集に努める。	

		令和元年度	令和2年度	令和3年度	
事業 計画 実績	年度計画	市民会議への補助金交付 ・市内駅誘致に向けた要望活動等 ・シンポジウムの開催  三重県期成同盟会など関係団体への会議等への出席  市内駅誘致・整備等に向けた情報収集 ・先進自治体等への視察  ○PR活動 ・PRグッズの作成	市民会議への補助金交付 ・市内駅誘致に向けた要望活動等  三重県期成同盟会など関係団体への会議等への出席  市内駅誘致・整備等に向けた情報収集 ・先進自治体等への視察  ○PR活動 ・デジタルサイネージの導入 ・デジタルサイネージコンテンツの作成	市民会議への補助金交付 ・市内駅誘致に向けた要望活動等  三重県期成同盟会など関係団体への会議等への出席  市内駅誘致・整備等に向けた情報収集 ・先進自治体等への視察  ○PR活動 ・PRポスターの作成 ・デジタルサイネージコンテンツの拡充	
	年度実績	○市民会議への補助金交付 1,262千円  ○三重県期成同盟会等への会議の出席  ○市内駅誘致・整備等に向けた情報収集 ・先進自治体(中津川市)の視察  ○PR活動 ・PRオリジナルテープの作成(600巻)			
事業 の 計画 ・ 実績	計画額	事業費	3,000千円	1,700千円	1,700千円
		国庫支出金			
		県支出金			
		地方債			
		その他			
	一般財源	3,000千円	1,700千円	1,700千円	
	予算額	事業費	2,900千円		
		国庫支出金			
		県支出金			
		地方債			
		その他			
	一般財源	2,900千円	0千円	0千円	
	決算額	事業費	1,607千円		
		国庫支出金			
		県支出金			
地方債					
その他					
一般財源	1,607千円	0千円	0千円		
人件費	総人件費	4,945千円	0千円	0千円	
	一般職員	4,945千円	0千円	0千円	
	所要人員	0.63			
	会計年度任用職員等	0千円	0千円	0千円	
総コスト( + )		6,552千円	0千円	0千円	
受益者負担率		0.0%	0.0%	0.0%	

			令和元年度	令和2年度	令和3年度
指標	名称	リニア中央新幹線建設促進期成同盟会総会への出席回数	計画値 1	1	1
			実績値 1		
			単位 回	回	回
	名称	リニアに触れた親子の数	計画値 90	90	90
		リニア中央新幹線・JR複線電化推進亀山市民会議が実施するイベントへの親子参加者数	実績値 87		
			単位 人	人	人
名称		計画値			
		実績値			
		単位			

事業の改善	前回評価	【前回評価の対応方針の概要を記入】 リニア中央新幹線の東京・大阪間の全線早期開業と市内停車駅誘致に向けて、積極的に推進活動を行うとともに、市民一丸となった市内停車駅誘致に取り組めるよう機運醸成やPRイベントを関係団体等と開催する。
	改善行動	【前回評価の対応方針を踏まえ、どのような措置を講じたか】 リニア中央新幹線・JR複線電化推進亀山市民会議の活動等を通じ、リニア中央新幹線の東京・大阪間の全線早期開業と市内停車駅誘致に向け、中央要望や他団体との連携など積極的な推進活動を行うとともに、リニア・鉄道親子学習会の開催をはじめとする機運醸成のためのPR活動を実施した。

		評価	(判定)
事業の評価	活動	【計画どおりに実施できたか】 リニア中央新幹線・JR複線電化推進亀山市民会議に対し補助金を交付し、リニア中央新幹線の全線早期開業や市内停車駅誘致に向けた活動を支援した。しかし、新型コロナウイルスの感染拡大を受けて一部事業(リニア亀山市民会議主催のシンポジウム開催)が実施できなかった。一方、三重県期成同盟会など関係団体の会議等へ出席したほか、市内停車駅整備等に向けた情報収集として、先進自治体の視察を行った。また、市内停車駅誘致のPRグッズ(オリジナルテープ)を作成した。	B まずまず実施できた
	成果	【成果は順調に上がったか】 リニア中央新幹線・JR複線電化推進亀山市民会議を通じた取り組みや県や関係府県と連携した取り組みにより、東京・大阪間の全線早期開業と市内停車駅誘致の活動を官民一体となって展開することができた。しかし、新型コロナウイルスの感染拡大を受け一部事業が実施できなかった。また、市内停車駅誘致のPR活動を通じ、市民の意識醸成が図れたほか、先進自治体の視察等により、リニア駅を核としたまちづくりに向けた研究に繋げることができた。	B まずまず成果を得た

今後の対応方針	課題	【課題は何か】 引き続き、リニア中央新幹線の全線早期開業及び市内停車駅誘致に向けて、関係機関と連携した推進活動を展開する。また、市民一丸となった市内停車駅の誘致活動が展開できるよう市民にリニアの必要性について理解を深めてもらうとともに、機運醸成を図る必要がある。	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> その他 【その他の場合、その内容を記載】
	対応	【課題に対し、どのように対応するか】 リニア中央新幹線の全線早期開業及び市内停車駅誘致に向けて、関係機関と連携を図りながら積極的な推進活動を行うとともに、リニア中央新幹線・JR複線電化推進亀山市民会議を通じたPR活動等を積極的に実施する。また、当市民会議の会員拡大を促進する。	
	効果	【対応することで、どのような効果が期待できるか】 積極的な推進活動を行うことで、リニア中央新幹線の全線早期開業と市内停車駅誘致に繋がるとともに、関係団体等と連携したPR活動を行うことで、より一層の市民・関係機関の機運醸成が図られる。	
対応時期		令和2年度	

【1次評価者】	総合政策部 政策課 政策調整グループリーダー 大平 守
【最終評価者】	総合政策部 政策課長 笠井 武洋

(参考:前期基本計画期間(H29-R3)における評価履歴)

		H29	H30	R1	R2	R3
判定	活動	A	A	B		
	成果	A	A	B		

令和元年度予算額(事業費)の内訳

予算額(事業費)		2,900 千円
内訳	平成30年度からの繰越額	千円
	令和元年度の最終予算額	2,900 千円
	令和2年度への繰越額	千円